消第６３２９号の２
平成２７年9月１８日

新潟県石油商業組合　理事長　様

新潟県防災局消防課長

消火設備に使用される高圧ガス容器の安全確保について（通知）

本県の高圧ガス保安行政の推進につきましては、日頃から御協力いただき厚く御礼申し上げます。

さて、本年７月１２日、新潟市内のセルフ給油取扱所に設置された泡消火設備の加圧用窒素容器が突然破裂したことにより人的・物的被害が生じる事故が発生し、マスコミでも大きく報道されたところです。（詳細は別紙参照）

当該事故の調査結果によると、高圧ガス容器が長期間、雨水等にさらされやすい環境に置かれたことにより、高圧ガス容器の外部が腐食し、破裂に至ったものと推定されます。

当該泡消火設備に使用される高圧ガス容器は、長期間使用されないことが多く、また、このような場合、高圧ガス保安法上、定期的に容器検査をする義務がないことから、その設置状況によっては、同様の事故が発生する可能性があります。

このため、消火設備に使用される高圧ガス容器の安全確保のため、別紙のとおり関係機関に通知したところです。

つきましては、貴職におかれましても、貴会員に対し、泡消火設備に使用される高圧ガス容器の設置状況、腐食状況等を確認し、適切な対応をとるよう周知をお願いします。

担当　予防係　西潟
高圧ガス保安係　鈴木
電話（予防係）
025-282-1665
（高圧ガス保安係）
025-282-1666

別紙　事故状況

１　発生日時及び場所

平成２７年７月１２日（日）　１５時５０分頃

セルフ給油取扱所（新潟市）のパッケージ型固定泡消火設備

２　被害状況

人的被害　軽傷１名（破裂音による耳鳴り）

物的被害　車両６台

３　泡消火設備の状況

（１）高圧ガス容器について

加圧用窒素容器（内容積 10.2 リットル、最高充てん圧力 14.7Mpa）

（２）設置状況

・高圧ガス容器は消火設備収納ボックス内に収納していたが、ボックス底部に直接設置してあり、また、ボックスそのものも地盤面に直接設置

・近傍に洗車場があり、その排水や雨水がボックス付近を通過しやすい状況

・設置から１４年経過

４　事故原因について

容器底部のみ外側が著しく腐食し、肉厚が著しく減肉していた。

容器内部には腐食がみられなかった。

このことから、容器が長期間腐食環境にさらされたことにより、腐食、減肉し、容器内圧に耐えきれずに破裂したものと推定される。

５　参考資料

・リーフレット

・参考写真

・新聞の写し

高圧ガス容器の腐食に注意！！

○泡消火設備の加圧用窒素容器が突然破裂する事故が発生しました。
（H27 年 7 月　新潟市）
被害：軽傷１名、周辺の車両６台破損

○長期間、雨水等にさらされやすい環境に置かれたことにより、容器が外部から腐食し、破裂に至ったと推定されます。

事故の未然防止のためには…

日常点検・定期点検で容器の腐食状況を確認！

腐食している場合は、製造業者等に点検してもらい、交換等の必要な措置を！

連絡先（消火設備等に関すること）所在地を管轄する消防本部にお尋ねください。
（高圧ガスに関すること）新潟県防災局消防課　高圧ガス保安係　電話　025-282-1666

破裂した窒素容器。底面がとれ、容器が開いている。
内側には腐食がみられない

外れた容器。表面がでこぼこしており、外面腐食が進んでいる。

7/13(月)
2015年(平成27年)
夕刊 新潟日報
題字 會津 八一

消火用ボンベ破裂

新潟・中央区GSで1人搬送

破裂したボンベを調べる捜査員＝12日午後6時ごろ、新潟市

12日午後4時前、新潟市の男性(47)が耳鳴りを訴えて市内の病院に搬送されたが、命に別条はない。ボンベや消火設備などの破片が吹き飛び、近くの車数台に当たる被害も出た。

新潟[redacted]署によると、ボンベは高さ約1㍍、直径約20㌢で、消火剤を噴射するための窒素が入っていた。消火剤のボンベとともに金属製の容器に収められていたという。同署は破裂した原因を調べている。

現場は[redacted]高校やショッピングセンターなどに近く、一時騒然とした。周辺は破片が飛び散り、多くの買い物客らが警察や消防の活動を見守った。

ショッピングセンターの駐車場にいた新潟市西区の会社員石崎康敏さん(45)は「ドカンという音が聞こえた。飛んできた物で車のワイパーに傷がついてしまった」と驚いた様子で話した。

タンド(GS)で、消火設備のガスボンベが破裂した。近くにいた客で中央区のガソリンス